

鹿児島県 児童クラブ連絡協議会

ニュース

〒899-4301

鹿児島県霧島市国分重久 2105-1

TEL/FAX 0995-45-7800

県児童クラブ連絡協議会第2回総会を開催！

■6月1日(日)、県民交流センターにて県児童クラブ連絡協議会発足1周年記念講演会と総会を、23 児童クラブ 50 名の参加のもと開催しました。

記念講演では、埼玉県草加市両新田児童クラブの指導員歴22年の竹内れい子さんが、学校での子どものしんどさ、保護者の働く職場や子育てでのしんどさ…学童の役割、人とのかわりの中で子どもは育つことなど、日々の実践から分かりやすく語っていただきました。元気をいただきました！！

◆県社会教育課の茶園さん、県子ども課の徳田さんから20年度の子育て事業—長時間加算と障害児受け入れ加算(補助金)にかかわり、専門的な研修受講(新規)等の説明がありました。詳細は、各自治体の窓口、または県連絡会事務局に問い合わせ下さい。

●鹿児島市児童クラブ連絡会の伊地知会長から、鹿児島市の学童保育事業内容(予算等／同封の資料を参照下さい)の見学詳細と県児童クラブ連絡会とともに連携の方向と激励のあいさつをいただきました。

★桐原琢磨県議からは、19年度鹿児島県の子育て支援事業費の年度末補正や県連の活動への期待と児童クラブへの応援のエールをいただきました。

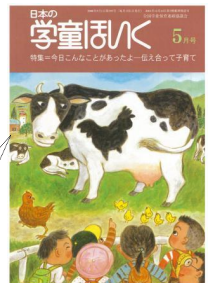
▲総会は、「あってよかった県連絡会」をめざして、2008年度事業計画と役員体制等、承認をいただきました。みなさんからの「声」を県連にお寄せ下さい！



◇購読者数の拡大で、県児童クラブ連絡協議会の財政支援を！

□県連を通じて購読すると購読手数料が、県連に還元されます。

☆是非、ご協力下さい！



霧島市児童クラブ連絡会 第3回総会を開催！！

霧島市児童クラブ連絡会の第3回総会は、5月18日に管内の15クラブから42名の参加のもと開催しました。2008年度は、長時間加算、障害児受け入れ加算額の変更があり、霧島市の担当者(児童福祉係)から詳しい説明がありました。

また、8月23日に第一回の「きりしま学童こどもまつり」を開くこと、指導員・保護者の研修会や各児童クラブとの経験交流、地域・学校との連携を深めていくことなど決定しました。



竹内れい子さん「記念講演」 感想・ひと言……

●学童は家庭と同じように、自分を出せる場所であるだけに、子ども同士ぶつかり合うことも多いが、指導員も子どもの気持ちに添って受け止めて、日々を過ごすことの大切さ、心構えが必要だということを痛感しました。また、改めて指導員の仕事は、やりがいがあると思いました。(M)

◆学校での子どもたちに比べ、児童クラブでの子どもたちの違いに悩んでいました。講演を聴き、どこも同じなんだと思うことでした。学校でのしんどい分、学童で発散するということに納得しているのか、そうであれば、これからの対応を今一度考え込んでしまいました。(T)

学童保育の意義を強調
鹿児島県児童クラブ
連絡協議会(加来宗曉
会長)の設立一周年を
記念した講演会が一
日、鹿児島市のかこし
ま県民交流センターで
あった。埼玉県草加市
で二十二年の児童クラ
ブ指導員歴がある竹内
れい子さんが講師とな
り、「子どもとともに
保護者も成長する」な
ど学童保育の意義を語
った。

関係者約五十人が参
加。竹内さんは長年の
指導経験をもとに、現
代の子どもは忙しく大
勢で遊ぶのは難しい一
方、競うことに慣らさ
れていてと指摘。その
上で「児童クラブはど
の子どもも安心できる場
であるべき」「今こそ保
護者、指導員、学校な
ど多くの人がかわり
合う子育てが必要」と
呼び掛けた。

【編集後記】

県連2年目のスタートです。子どもや親、学童をめぐる環境は課題が山積しています。だからこそ情報共有し、なやみを出し合い、協働して子どもたちの「育ち」の場づくりを一步、一步進めていきたいと思っています。はじめての一步から、ステップアップしましょう！(T)